

オンライン授業公開講座

○受講生募集

熊本県立大学では、地域の方々が大学の正規授業を学生と一緒に受講する「授業公開講座」を平成2年度から実施し好評を得ていますが、新型コロナウイルス感染予防のため、昨年度に引き続き本年度も休止しています。

そこで、大学に来なくても自宅で受講できる「オンライン授業公開講座」を実施します。学生と同じ授業をご自宅で、自由な時間に、受講期間中は何度でも学べます。

今回は令和3年度・冬期として14講座をお届けしますので、この機会に新しい学びを始めてみませんか？

応募期間 2021年10月8日(金)～2021年10月24日(日)

受講料 1講座あたり5千円

受講期間 2021年12月～2022年3月

応募方法 熊本県立大学HPから→ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>
熊本県立大学HP>「ご案内・参加者募集」>[CPDプログラム・各種公開講座]

講座一覽

※授業計画は変更する場合がございます。

No	講座名	講師名	授業計画	授業撮影時期
1	英語圏文学購読Ⅰ	難波 美和子	全8回	New
2	環境と生物圏	堤 裕昭	全15回	再
3	経営分析論	望月 信幸	全15回	New
4	計量経済学	本田 圭市郎	全15回	New
5	建築環境工学Ⅱ	辻原 万規彦	全12回	New
6	公共政策論Ⅱ	井寺 美穂	全15回	New
7	国際経済学	本田 圭市郎	全15回	New
8	消費者行動論	丸山 泰	全11回	再
9	情報メディア論	石橋 賢	全15回	再
10	地域づくりと協働	澤田 道夫	全15回	New
11	地方自治論	澤田 道夫	全15回	再
12	マーケティング	丸山 泰	全10回	再
13	マクロ経済学Ⅱ	本田 圭市郎	全15回	New
14	はじめての英語音声学	武上 富美	全10回	New

1 英語圏文学購読 I

講師：難波 美和子



講義内容

英語で書かれた文学は多様に展開している。〈イギリス文学〉〈アメリカ文学〉という枠組みでは、収まりきらないことは、〈カナダ文学〉や〈オーストラリア文学〉をどこへ配置するかを考えればわかるだろう。その一方、〈カナダ文学〉は英語で書かれているとは限らない。国境を越えて活動する作家たちは〈国名+文学〉の枠組みではとらえきれない。〈英語〉もひとつとおりではない。イギリスの作家たちの中にもさまざまな特徴の英語があり、アメリカの作家も出自やアイデンティティによって異なった英語を表現の手段としてきた。英語を第二第三の言語として獲得した作家たちも増えつつある。現代の作家たちは国境のみならず言語という枠組みも食い破り、それぞれの表現を模索している。多様化し、拡大する英語使用者とともに、英語による文学が何を産み出しているのかを、現代南アジアの英語文学を中心に取り上げながら考える。

現代の英語と英語文学の背景について概観したのち、現代南アジアの英語で書かれた小説を読む。

なお本科目は本学の地域志向科目・地域創生科目として開講される。

講義レベル：3年生向 授業計画：全8回 ●2021年度撮影

2 環境と生物圏

講師：堤 裕昭



講義内容

地球46億年の歴史の中で、地球の環境、そこに棲息する生物や生態系がどのような必然性と偶然性の中で形作られてきたかを解説します。

我々の棲む地球がどのようにしてできあがり、そこで生物が誕生して、どのような進化を遂げてきたのか、地球史と生物進化史の概要に関する知識を習得することを目標とします。

講義レベル：1年生向 授業計画：全15回 ●2020年度撮影

③ 経営分析論

講師：望月 信幸



講義内容

本講義では、財務諸表から企業の経営状態を把握する財務諸表分析を中心に講義する。具体的には、企業が作成する貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などを用いて、企業の経営状態を把握するための評価ツールとその利用方法について学習する。また、財務諸表だけではわからない企業の経営状況について、ファイブフォース分析やSWOT分析などを用いて学習する。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

④ 計量経済学

講師：本田 圭市郎



講義内容

計量経済学とは、統計学を基礎とし、データから様々な判断を行うための分析手法を学ぶ学問である。統計学に比べ、複数のデータの間関係を調べる際に便利な方法である。この授業では、その基礎的な方法である回帰分析を主に取り扱う。また、質的情報を回帰分析中で扱うことが可能になるよう、数量化理論(ダミー変数)や質的変数モデル(ロジット、プロビット)にも触れ、より広範囲かつ実践的な方法の習得を目指す。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

⑤ 建築環境工学Ⅱ 講師：辻原 万規彦



講義内容

建築環境工学のうち、空気、光ならびに音環境に関する基礎事項を解説しています。内容は、換気の仕組み、自然換気と機械換気、換気計画、光環境の基礎、照明計画、色彩、音の性質、吸音と遮音、騒音などです。

知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指しています。演習問題にも取り組んで、理解を深めてください。高校卒業程度の数学や物理の知識が前提です。

講義レベル：2年生向 授業計画：全12回予定 ●2021年度撮影

⑥ 公共政策論Ⅱ 講師：井寺 美穂



講義内容

公共政策とは、様々なアクターが関与しながら策定される「公共的な諸問題を解決するための活動案」のことです。本科目では、公共政策がどのようなアクターのもと、どのように形成され、そして決定、実施、評価されているか、そのプロセスを科学的に分析・検討します。その上で、身近な社会問題を題材に、政策の立案に取り組みます。

本科目を受講することにより、公共政策の機能や役割はもちろんのこと、政策過程に関する知識を理解・習得し、より実践的に様々な諸問題を分析・解決する能力の向上を目指します。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

7 国際経済学

講師：本田 圭市郎



講義内容

国際経済学は、国境を越えた取引に注目し、そのメカニズムの解明を試みる学問である。現代社会では、輸出入だけでなく、企業やヒトの移動、さらには諸外国との自由貿易協定や貿易摩擦など、国際的な取引が経済問題の中で大きな比重を占めている。この授業では、特にモノ・サービスの取引について注目する国際貿易論を扱い、その理論的枠組みを用いて、国際経済に関する諸問題や政策の是非を自分で考えられるようになることを目的とする。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

8 消費者行動論

講師：丸山 泰



講義内容

消費者をよく理解することなしに、マーケティングは有効に機能しないと言っても過言ではない。消費者の行動を、問題認識－情報探使－評価・選択－購買－購買後評価といった局面別に理解を深め、人々がどのような刺激によってどのような反応をするのか、そのメンタルモデルについて学んでいく。

単に理論を学ぶだけでなく、そのような消費者の行動を探索するリサーチの実際まで、消費者行動を理解していく知識とスキルを身に付ける。

講義レベル：3年生向 授業計画：全11回 ●2020年度撮影

お知らせ：前提となる知識として、「マーケティング」を受講していることが望ましい。

⑨ 情報メディア論

講師：石橋 賢



講義内容

ICT技術やサービスでは、多様なメディアを用いて情報を扱います。そのため、情報メディアを学ぶには、横断的に情報分野を知る必要があります。本講義では、ビジュアルコンピューティング、ヒューマンコンピュータインタラクション、バーチャルリアリティなどについて説明します。なお、情報分野に関する専門知識は必要ありません。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

お知らせ：レジュメや講義補助資料はClassNotebookを利用予定。

⑩ 地域づくりと協働

講師：澤田 道夫



講義内容

協働とは、人と人との相互作用を通して社会の目標を達成していくシステムです。国や県、市町村などが行う様々な行政活動に人びとが参加し、行政と力を合わせていくことで、より良い地域を作り上げていくことが可能となります。

近年の景気悪化と行財政改革の流れの中で、行政が使用できる予算や人員は縮小の一途をたどっています。参加と協働は、このような社会情勢を背景として、いまや全国の自治体の政策における中心的な理念となっています。

この授業では、「参加から協働への発展」と「社会環境の変化」の関係や、「垂直的分権による協働」と「水平的分権による協働」の違いなどを学ぶことで、地域づくりにおける協働の持つ意義と、協働を進めるための条件について理解を深めることを目標とします。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

11 地方自治論

講師：澤田 道夫



講義内容

この授業では、私たちにとってもっとも身近な政治・行政様式である「地方自治」の理論と制度について学びます。

地方自治に関する知識とその実務のイメージを掴み、望ましい地方自治を実現するための住民と行政との関係、そして将来の地方自治のあり方について考えることができるようにしていきます。

講義レベル：1年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

12 マーケティング

講師：丸山 泰



講義内容

近年、マーケティングは顧客満足を実現する考え方として、民間企業だけでなく、行政、自治体や大学、医療、福祉分野でも活用されてきています。

本講義では、マーケティングの基本概念を理解し、“人を気持ちよく動かす”マーケティングの仕掛け、仕組み、考え方について、その基礎を理解していきます。

講義レベル：2年生向 授業計画：全10回 ●2021年度撮影

13 マクロ経済学Ⅱ 講師：本田 圭市郎



講義内容

マクロ経済学は、人間の経済活動を一国全体の集合体として捉え、そのメカニズムの解明を試みる学問である。この授業では、マクロ経済学Ⅰの内容を基に、より現実的な分析が可能となるマクロ経済学の応用理論を習得し、実際に行われている経済政策や経済問題の影響の検証を自分で行うことができるようになることを目的とする。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

お知らせ：教科書として、平口良司・稲葉大(2020)『マクロ経済学入門の「一歩前」から応用まで』(新版、有斐閣ストウディア)を元に講義を進めるが、必須ではない。(練習問題などで使用予定)
「マクロ経済学Ⅱ」は「マクロ経済学Ⅰ」を受講済みであることが条件。

14 はじめての英語音声学 講師：武上 富美



講義内容

一般音声学の基礎知識を習得し、英語における音の体系について理論的に学習する。

実際の発音練習を行い、英語によるコミュニケーションを円滑に図るために発音のスキル向上をめざす。

講義レベル：1年生向 授業計画：全10回 ●2021年度撮影

募集要項

◇受講資格

- 1) モニター規約に同意すること。
- 2) 18歳以上であること。
- 3) 個人のメールアドレスを有し、メールの送受信を日本語でできること。
- 4) パソコン、タブレットを用いて、Youtube等で配信される動画を1時間30分程度、支障なく継続視聴できること。
- 5) 期日までに受講料の振り込みが完了していること。

◇募集期間

2021年10月8日（金）AM9:00～10月24日（日）

◇開講期間

2021年12月～2022年3月

◇募集人員

1講座20名

◇申込方法

申し込みフォームは熊本県立大学HPから→ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>

熊本県立大学HP>「ご案内・参加者募集」>[CPDプログラム・各種公開講座]



◇受講生選定方法

応募者が募集人員（1講座20名）を超えた場合は、先着順で決定。

◇結果の通知

2021年11月上旬頃、申込者全員に結果を通知いたします。

◇受講料

1講座5千円

◇必要な環境

受講用端末：パソコン/タブレット（Windows8.1以降、MAC OS X 10.11以降）
インターネット：固定回線/モバイル回線

◇お問い合わせ先

熊本県立大学 地域連携政策センター メール：renkei-c@pu-kumamoto.ac.jp 電話：096-321-6612 月～金曜日 AM9:00-PM4:00（祝日は除く）